

水田洋 （みづの） 経済史學者。大正八年九月二日東京生れ（一九九一）。昭和十六年東京商科大学卒業。名古屋大学教授。

譯書に、スミス著『國富論草稿』（昭和二十二年十一月）二十日日本評論社「世界古典文庫」、ホツブズ著『リヴァイヤサン』（一・昭和二十四年三月）二十日日本評論社「世界古典文庫」。のうち全四冊。一九二九年一月五日―六十年六月十八日岩波書店「岩波文庫」、E・J・ホブズボーム著『市民革命と産業革命―二重革命の時代』（安川悦子共訳、昭和四十二年二月）二十九日岩波書店（等）。著書『社会思想史概論』（高島善哉・平田清明共著、昭和二十七年四月）二十日岩波書店（一）『この精神の軌跡』（昭和五十二年九月五日東京経済新報社）、『思ひ出の本』（公著、昭和五十九年十月十五日出版（エース社）等。

